PART4 地域調査

Chapter1　地域調査の準備

目標　地域調査をはじめるために，まずするべきことは何だろう。
文献や資料を調べたら，次にするべきことは何だろう。

1　地域調査とは何か?

・〔　　　　　　　　〕とは，ある**地域**の課題に対し，**歴史的・文化的背景**や**地理的な特徴**をとらえながら解決策や対応策を考える調査。

・地域調査は，〔　　　　　〕（問い）の設定→〔　　　　　〕・〔　　　　　〕調査→〔　　　　　〕調査→〔　　　　　〕の整理・分析→報告・〔　　　　　〕という流れで行う。

2　課題（問い）の設定

・**地域調査**のためには**課題**（**問い**）の設定が重要となる。

・対象となる**地域**と〔　　　　　　　　　　〕（解決したい課題や，明らかにしたい問い）を決める。調査テーマは，これまで学んできた〔　　　　　〕的な観点（**地形，気候，産業，環境問題，都市問題**など）を参考に，図書館などで地域の変遷に関する**資料**を活用して探すとよい。また周囲の人々との**交流**の中にもヒントはある。

・調査のテーマ次第では，自分の暮らす生活圏でなく，より広い地域が対象となる場合も。

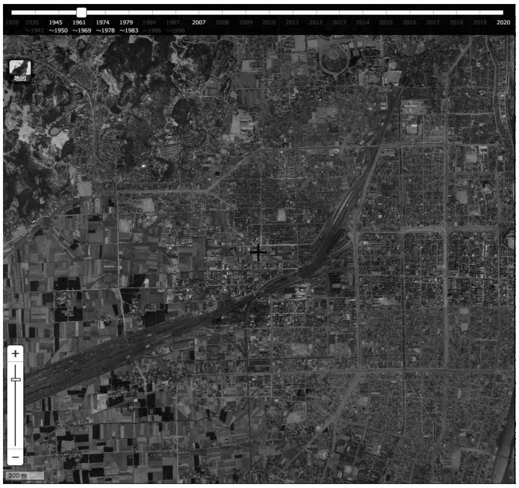
3　文献・情報調査

・〔　　　　　　　〕を設定したら，それに関する文献や資料を探す。**地形**や**土地利用**の変化，**人口構成**や**都市化**，**産業**の発展の様子など多様なものがある。

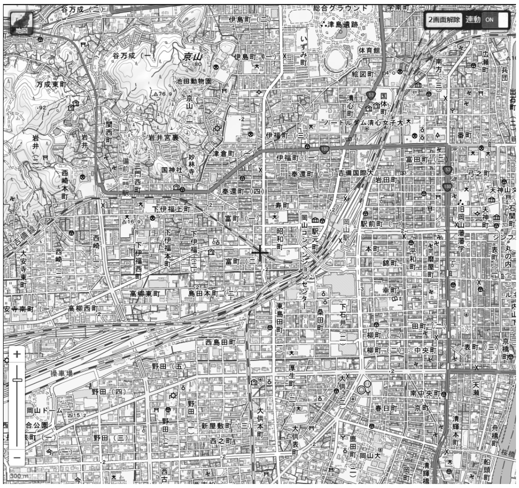
・地形や土地利用の変化を調べるなら，新旧の〔　　　　　　　　〕や〔　　　　　　〕の比較が有用。現在では，Web GIS で簡単に新旧の資料を手に入れることができる。

・人口や産業など**統計**に関する資料も，**文献**や**インターネット**から入手する。
〔　　　　　　〕では，最新の**国勢調査**の結果にアクセスできる。

・複数の資料が集まったら，それらを集約して検討し，はじめに立てた**課題**（**問い**）に対する〔　　　　〕を立ててみる。



1961 年の岡山市



2022 年の岡山市

（出典：国土地理院ウェブサイト）

4 現地調査

・〔　　　　　　　　　　　　　　　　〕（**現地調査**・野外調査）では，文献・情報調査を通じて立てた**仮説**の**検証**を行う。

・〔　　　　　　　〕を用いながら現地の景観の観察を行い，写真や映像，スケッチなど記録に残す。

・**地域の人々**に対しての〔　　　　　　　　　〕調査や**アンケート**の実施。協力してもらう人たちには**事前の連絡**が必要。

・**店舗**の種類や**交通量**，人々の**通行量**など，地形図からは判別できない内容についても調査を行う。

・調べた内容は〔　　　　　　　　　　　　　　　　　〕に記録しておく。

まとめ

課題（問い）の設定と，対象となる地域の決定。

仮説の立案。はじめに立てた課題（問い）に対する考えをまとめてみよう。

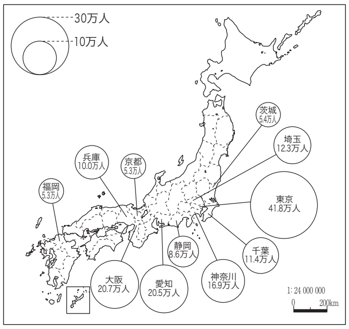
Chapter2　地域調査の分析と発表

目標
現地調査の結果をまとめる際に，気をつけることは何だろう。
地域調査の結果をさらに活用するには，どのようなことが必要だろう。

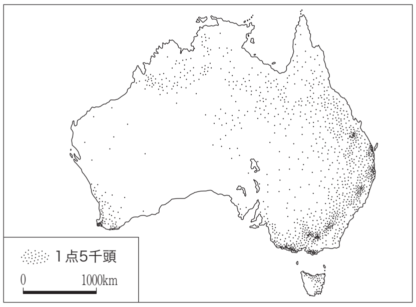
1　調査結果の整理と分析

・調査した内容は，項目ごとに整理し**図表**にまとめる。
・得られた**地理情報**は〔　　　　　　　〕を作成して整理するとよい。
・統計を**グラフ**にまとめる場合は，用いるグラフの種類に注意する。**実数**を表す場合は棒グラフ，**割合**の場合は円グラフなど，表す値に適するグラフを選択する。実数と割合を同じグラフで表すと混乱が生じるので注意。
・**写真**や**文献資料**などから得られた情報も，視覚的にわかりやすいように整理する。
・〔　　　　　　　　　〕調査の内容についても文章化。メモや音声記録などの活用。**アンケート**結果の整理も行い，必要ならば図示化をする。
・調査結果を**分析**し，最初に立案した〔　　　　　〕の検証結果をまとめる。

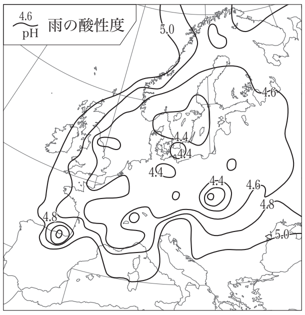
・いろいろな主題図



図形表現図（在日外国人数）

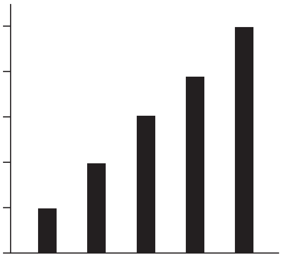


ドットマップ（牛の分布）

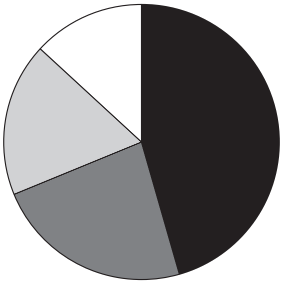


等値線図（雨の酸性度）

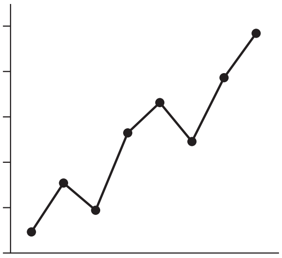
・いろいろなグラフ



棒グラフ



円グラフ



折れ線グラフ

2 報告・発表

・**報告・発表**の手法には，レポート・ポスターなどさまざまあるが，〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕などを用いてわかりやすい発表を心がける。

・クラス内のほかのグループの発表も参考に，〔　　　　〕的な分析を行うとよい。

・学校内だけでなく，文化祭などの機会を用いて**地域の人々**にも見てもらえるようにすると，調査して学んだことを地域に〔　　　　〕することができる。

・調査内容を報告・〔　　　　〕することで地域調査は完結する。

3 新たな課題の発見と地域とのかかわり

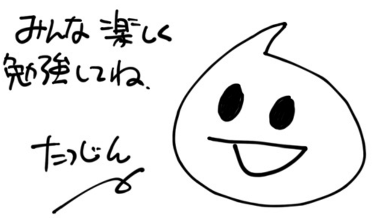
・一度**地域調査**を行ったら，さらに継続的な〔　　　　〕へと結びつける。

・研究を通し，浮き彫りとなった**課題**について，〔　　　　　〕や〔　　　　　〕を協議する。

・地域調査を通じ，**地域の人々**との〔　　　　〕を活発化させたら，具体的な提案により，地域の**課題解決**のために協力していく。

4 おわりに

・地理という科目は「生活者」の科目であるということに，君たちも気づいてくれただろうか。決して遠い世界のことばかりを学ぶのではない。私たちの身の回りにあるさまざまな自然現象や社会現象を関連づけ，私たちの生活がどのように営まれているか，その原理を考察する科目なのである。身近な地域に目を向け，大地にしっかりと足をつけた「生活者」として，さらなる探究の道へと進んでほしい。



まとめ

図表や写真などを用い，視覚的にわかりやすく整理する。

地域の人々との交流を活発にし，地域の課題解決に協力していく。

第15講 PART4 確認問題

1 「地域調査」について述べた文として，**誤っている**ものはどれか。

① ある地域をテーマとして取り上げて調査する。
② 歴史的・文化的背景や地理的な特徴をとらえる。
③ その地域の抱える課題・問題点が明らかになることもある。
④ 課題に対する対応策・解決方法までは検討する必要はない。

2 地域調査の調査テーマの設定として**誤っている**ものはどれか。

① 対象となる地域は，自分の暮らす生活圏に限定しなければならない。
② 図書館などで資料を活用し，調査テーマを決定する。
③ 地域の人との会話の中にも，調査テーマのヒントはある。
④ これまでに学んだ地理的な観点を活かして設定する。

3 調査テーマを設定したのち，最初に行われる調査は何か。

① 現地の人を招いての調査　② 電話を利用したアンケート調査
③ 文献や資料による調査　④ 実際に現地に出向いて行う調査

4 文献・資料調査でさまざまな情報が集まったら，次にするべきことは何か。

① 仮説の立案　② 現地調査の実施
③ 報告用グラフの作成　④ 地域の人への聞き取り調査

5 文献・資料調査を通じて立てた仮説の検証を行うため，現地に行き調査することを何というか。

① フィールドワーク　② ホームワーク
③ ワークショップ　④ ワーキングホリデー

6 地域の人々に対し情報収集を行う調査を何というか。

① 書き取り調査　② 聞き取り調査
③ 読み取り調査　④ 話し合い調査

7 フィールドワークにおいて現地の景観観察に用いるとよい図はどれか。

① 地形図　② 世界地図
③ ハザードマップ　④ 地勢図

8 調査結果の整理について述べた文として**誤っている**ものはどれか。

① 調査内容は項目ごとに整理し，図表にまとめるとよい。
② 実数と割合は一つのグラフの中で表した方がよい。
③ 聞き取り調査の内容は文章化するとよい。
④ アンケート結果の整理では，必要ならば図示化するとよい。

9 地域調査結果の発表について述べた文として**誤っている**ものはどれか。

① 地域調査は発表することにより完結するといえる。
② プレゼンテーションソフトなどは利用しない方がよい。
③ ほかのグループの発表も参考に，多面的な分析を行うとよい。
④ 学校内だけでなく，対外的にも多くの人々に見てもらえるようにするとよい。

10 地域調査後の行いとして**誤っている**ものはどれか。

① 地域調査から新たな課題を発見し，継続的な探究へ結びつける。
② 研究を通して浮き彫りとなった課題について，対応策を協議する。
③ 学校内のみで引き続き探究を続ける。
④ 地域に具体的な提案をし，課題解決に協力していく。

第 15 講　PART4　確認問題　解答

1 解答：④　地域調査では，**地域の課題・問題点の対応策・解決方法**も検討する。

2 解答：①　地域調査の対象となる地域・規模は，自分の暮らす生活圏でなく，**より広い地域を対象としてもよい。**

3 解答：③　調査テーマを設定したら，まず，**文献・資料による調査**を行うとよい。

4 解答：①　資料や文献を通じて，さまざまな情報が集まったら，はじめに立てた調査テーマ（課題）に対し，自分なりの**仮説**を立ててみよう。

5 解答：①　文献・資料調査ののち，現地・野外調査を行うことを**フィールドワーク**という。

6 解答：②　地域の人々に話を聞いて現地調査することを，**聞き取り調査**という。

7 解答：①　**地形図**とは，国土地理院が発行している一般図。

8 解答：②　グラフにまとめる際は，実数などの絶対値と，割合などの相対値は同じグラフで表すと混乱が生じることもあるので，別にした方がよい。

9 解答：②　**プレゼンテーションソフト**なども用いてわかりやすい発表を心がけるとよい。

10 解答：③　地域調査を通じ，地域の人々との交流を活発化させていくことで，**地域の課題解決**につながることもある。